

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
孤立しない子育て支援事業 中(なか)よし子育てプラン			中区役所 子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4		
誰もが安心して子育てできることを目的として、子育てする中で孤立し、子育ての不安を一人で抱え込むことがないように、関わりや繋がりをもち、地域で子育て世帯を見守ることができる環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭同士、子育て家庭と子育て支援課のつながりの場の提供 ・子育てに関する悩みの早期発見のため、地域の相談支援機関と連携し、子育て支援課につながりやすい環境整備及び子育て支援課内の相談支援体制の充実 ・地域の子育て資源(子育てサークル・サロンなど)に対する支援 ・子育てに関する資源等の情報発信 	事業実施数	20回	16回		
		参加者	51人	69人		
		参加者の満足度 (アンケート)	82%	89%		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
◎ 感染症で子育てのイベント等が中止、規模縮小される中、子育ての孤立化が懸念されている。当該事業は、つながりの場の提供により、悩みを共有でき、気持ちを軽くすることに加えて、子育て情報を発信することで、保護者と子育て支援課とのつながりを強化し、子育てに関する悩みの早期発見及び相談支援ができる環境をつくるものであり、区が事業を実施する妥当性が高い。	◎ 交流会や講座に、子育て支援アドバイザーやこども園の保育士が参加し、遊び方の提供や保護者と関わりをもつことで、地域の支援者や子育て資源を知ることが出来る。今年度は民間こども園の保育士や地域の子育て支援者、フリースクール代表、大学の准教授を講師として招き、協働して子育て支援事業を実施した。	○ 中区の親子が“なか”よく楽しく交流し、ほっとできる時間が過ごせるように「なかよしほっとルーム」という中区役所子育て支援課独自の事業を開催している。また、地域とのつながりを重視し事業を実施している。	○	電子申請システムにて予約を受け付けることで、市民にとって申込のハードルが下げるとともに、申込受付業務の効率化にも寄与している。情報発信においては、子育て応援アプリを中心に即時性の高いものを活用している。		
⑤自立発展性	総合評価					
— 中(なか)よしプランというネーミングを用い、区民に身近で愛着を感じてもらえるネーミングとし事業実施している。孤立しない子育て支援事業については、現時点で区が事業の中核的な実施主体となるべき事業である。	○	子育ての孤立化防止のため、感染症下においても子ども、保護者共に安心して参加してもらえるようオンライン開催を取り入れることで、小さな子どもがいる家庭の参加のハードルを下げ、事業に参加しやすい環境にしたり、自宅でリラックスして聴いてもらったり、来所が困難な保護者等を対象に事業実施方法について工夫してきた。また、参加者に対して必要に応じ、子育てに関する資源等の情報発信を行ってきた。今後も、子育てが孤立しないよう、少しでも多くの子育て世代が参加してもらえる形での事業継続が必要である。				
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	継続的な実施が望ましいが、事業規模や方法等再度、検討する必要がある。					